

(別紙)

### 水稻の刈取状況（9月29日現在概況速報）について

- 1 9月29日現在、県全体で15%の水田で刈取りが終了しており、平年と比較して17ポイント遅い刈取割合である。刈取始期は9月27日頃と推定され、平年よりも2日遅れている。
- 2 地帯別には、北上川上流が14%、北上川下流が16%、東部が9%、北部が6%となっており、特に東部および北部で刈取りが遅れている。

表1 水稻の地帯別刈取状況（9月29日現在、各農業改良普及センター調べ）

地帯名	9月29日現在刈取割合(%)		本年(月/日)			平年(月/日)			平年差(日)		
	本年	平年	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期	始期	盛期	終期
北上川上流	14	36	(9/27)	-	-	9/23	10/4	10/14	(+4)	-	-
北上川下流	16	33	(9/27)	-	-	9/26	10/3	10/11	(+1)	-	-
東部	9	50	(9/28)	-	-	9/23	9/30	10/9	(+5)	-	-
北部	6	31	(9/30)	-	-	9/26	10/4	10/13	(+4)	-	-
県全体	15	34	(9/27)	-	-	9/25	10/3	10/12	(+2)	-	-

- 注) 1 平年値：過去10カ年（H19～H28）の平均値  
2 始期、盛期、終期：それぞれ概ね10%、50%、90%刈取った時期を示す  
3 本年値は、全地帯で未確定市町村があるため、すべて推定値である。

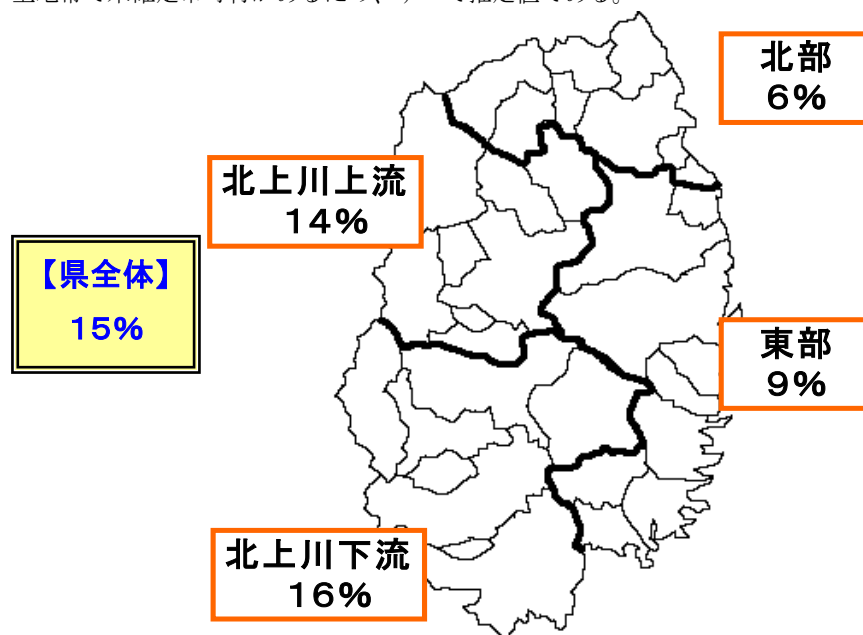


図1 水稻の地帯別刈取進捗率（9月29日現在、各農業改良普及センター調べ）

- 3 管理のポイント
  - ・刈遅れは着色粒・胴割粒など品質低下の原因となるので、適期に刈取りを行うこと。
  - ・倒伏した圃場では、作業速度を遅くし、刈分けにより品質確保に努めること。
  - ・収穫時期は日没が早まるので、計画的に作業をすすめ、農作業安全に心がけること。
  - ・籾の乾燥は二段乾燥を心がけ、玄米水分15%以下に仕上げること。
  - ・自然乾燥では、乾燥期間は2週間以内とし、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げること。

※次回の報告は10月16日（月）の予定です。（10月15日現在の刈取状況）